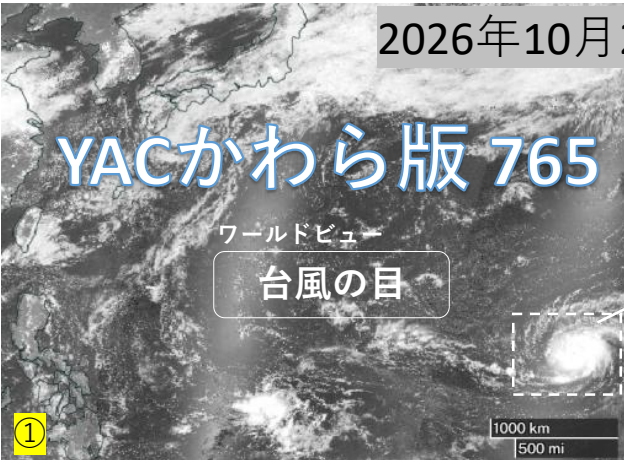


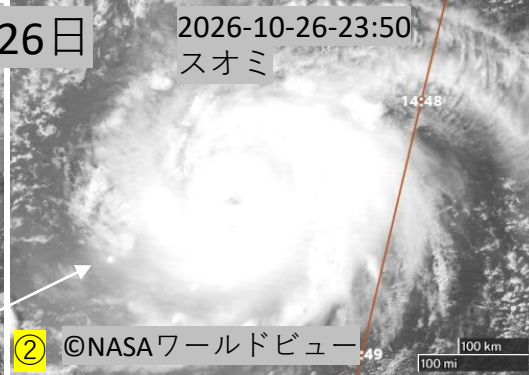


2026年10月26日

YACかわら版 765

ワールドビュー
台風目

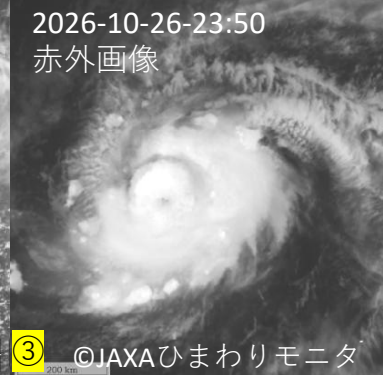
1000 km
500 mi



2026-10-26-23:50
スオミ

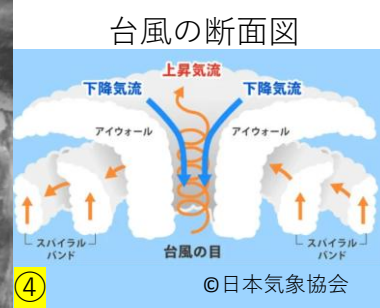
② ©NASAワールドビュー

<https://go.nasa.gov/4eA4Ek>



2026-10-26-23:50
赤外画像

③ ©JAXAひまわりモニタ



台風の断面図

④

©日本気象協会

<https://tenki.jp/bousai/knowledg/e/5acc20.html>

10月26日は満月でした。曇天でしたが雲の上をみようとしてNASAワールドビューのブラックマープルを開きました。ブラックマープルでは、地上の灯りも鮮明に確認出来ますし、満月に照らされた雲も確認できます。強い勢力の台風31号を確認できました。

NASAワールドビュー⇒10月26日の観測はスオミ衛星（可視光・近赤外域：0.5～0.9 μm）街の灯りや月明かりでみています。光がない場所は真っ黒になっています。

JAXAひまわりモニター⇒ひまわり衛星（熱赤外域 10～12 μm 等）「温度」でみている。昼夜を問いません。

9月27日沖縄の南で観測された台風26号の台風目には、アイウオール（台風目の壁）の影がっていました。台風31号の台風目の付近を拡大しましたが影は見当たりません。ブラックマープルは月明かりでも観測しています。月の位置はどこだったのでしょうか。

- ・9月27日の台風26号の画像⇒月は台風目の南西、高度60°～65°です
- ・10月26日の台風31号⇒月は台風目のやや南西よりのほぼ真上です

だから影がなかったようです。残念。月の灯りでみえる台風目の観測するVIIRSセンサーを搭載したスオミは2011年に打上げられました。この11月2日13:00で運用を終了します。ブラックマープルの観測は、NOAA-20/21が引き継ぎます。

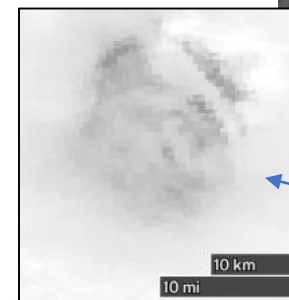
台風目の周りの雲はどれくらいの高さまであるのでしょうか。

2026年10月27日のセンチネル5Pとひまわり観測データで確かめました。

台風目の周囲の雲を、JAXAひまわりモニターで雲タイプ分けできるのは、昼間の観測データのみです。

深い対流で上昇する雲は約12,000mを超えています。台風の勢力が発達している時期なので台風目にも雲がかかっています。幾つかの観測データを組み合わせることで、推察できます。考える翼が育れますね。

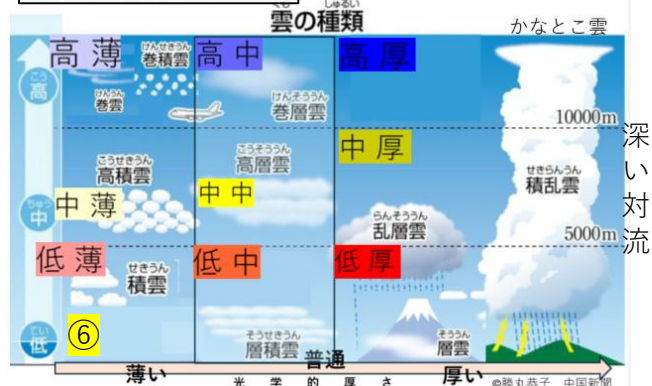
次号でも台風を探ります。



2026-10-26-17:10
スオミ

沖縄

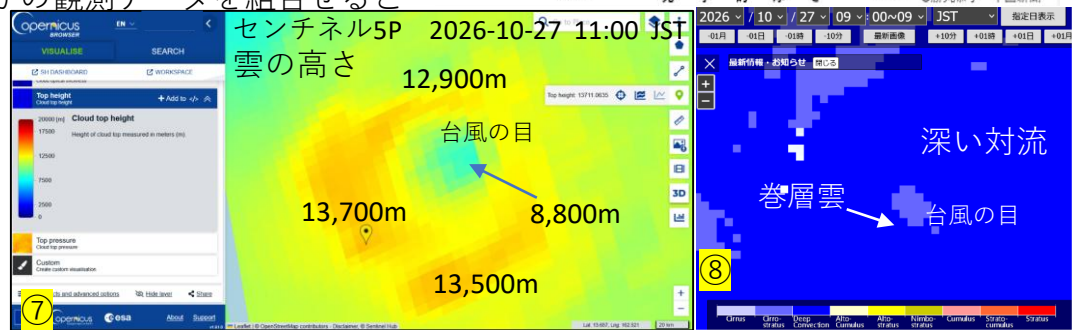
⑤



雲の種類

かなとこ雲

深い対流



センチネル5P 2026-10-27 11:00 JST
雲の高さ

12,900m

台風目

8,800m

13,700m

13,500m

深い対流

巻層雲

台風目

⑧

©JAXAひまわりモニタ

<https://link.dataspace.copernicus.eu/8twy>